

2015年11月10日

原子力規制委員会委員長 田中 俊一 殿

日本共産党島根県委員会  
委員長 後藤勝彦

### 島根原発についての申し入れ

中国電力は、6月30日、低レベル放射性廃棄物を処理する機器の検査報告書の偽造を公表しました。中電は、5年前の2010年に、511カ所もの点検漏れを起こし、不正をしない・ルールを守るという、コンプライアンス最優先の業務運営を掲げ、再発防止対策を継続実施中でありました。

しかし、今回の偽造は、中電のこれまでの改善策がまったく機能せず、うわべを取り繕うだけのものであったことを明白にしました。たび重なる不正は、中電が原発は事故を起こさないという「安全神話」に浸かっていること、そして、中電がこの地域で唯一の電力供給源となっているというおごり、目に余る異常体質が改めて露呈したものです。

この間、中電は、岡山県の土用ダムの測定データ改ざん、下関発電所の地元自治体と交わした公害防止協定違反、西郷発電所のばい煙規制値超過による大気汚染防止法違反、原発内での相次ぐ火災の発生、不適切事案に対する行政処分、活断層の見落としなど、幾度となく県民を裏切り続けてきました。問題発覚の度に謝罪はするものの、安全対策や長年の構造的な隠ぺい体質がまったく改善されていません。

県民からは、「全国最多の不正を続ける中電に原発を運転する資格はない」「活断層調査においてトレンチ調査やピット調査の位置が不適切ではないか。調査手法も信用できない」などの批判の声が上がっています。

以上の点を踏まえ、下記事項を要望します。

### 記

1. 中国電力の再発防止策が実効的な対策となるよう徹底した指導、監督を行うこと。再発防止策の進捗状況について県民への説明責任を果たすこと。
2. 宍道断層をはじめ、周辺活断層の徹底調査を行うこと。
3. 新規規制基準の審査対象に避難計画を入れること。
4. 島根原発を含め、全国の原発再稼働に向けた活動を断念すること。